

富山市立図書館

# 図書館だより 第6号



富山市立図書館では、毎年近隣の小学校から2年生を招待して図書館の利用の仕方、本の楽しみなどを教える学級招待を行っています。写真はその風景です。

## 目 次

特集 平成13年度富山市立図書館の活動指標と中核市の比較.....	2
子どもの読書活動表彰&子どもの本の展示会を終えて.....	4
おしらせ.....	5
私のおすすめ本.....	6
山田孝雄文庫の資料 6.....	7
レファレンスあれこれ.....	8

## 特集 平成13年度富山市立図書館の活動指標と中核市との比較

\* 現在、中核市は28市あります。しかし、長崎市には図書館がなく、  
福山市からは調査回答を得られませんでした。

### 中核市の活動指標比較表

	中核市名	貸出上限冊数(1人)	登録率	貸出冊数(1人)	貸出密度	蔵書回転率	蔵書冊数(1人)	図書購入費(1人)	図書の平均単価
1	岡山市	無制限	13.1%	5.7冊	43.3冊	3.0回	1.9冊	224.7円	1978.6円
2	宇都宮市	無制限	32.5	5.5	17.1	2.4	2.3	249.5	1567.6
3	豊田市	15冊	51.9	7.1	13.7	2.3	3.1	610.3	2204.3
4	高松市	15	48.0	5.6	11.7	2.5	2.2	168.1	1251.6
5	いわき市	15	14.2	3.2	22.8	2.8	1.2	155.2	1852.0
6	旭川市	10	42.0	5.7	13.7	2.5	2.3	254.5	1876.5
7	堺市	10	32.2	4.6	14.3	2.5	1.8	158.3	1913.9
8	金沢市	10	41.4	4.2	10.1	2.0	2.1	241.7	2197.4
9	高知市	10	11.2	3.7	33.4	1.8	2.1	218.9	1399.7
10	新潟市	10	14.3	3.4	23.9	2.5	1.4	167.0	1690.6
11	姫路市	6	27.3	3.9	19.4	2.3	1.7	182.1	2020.0
12	浜松市	6	25.3	3.3	13.0	1.9	1.7	187.4	2052.5
13	熊本市	6	24.1	2.4	9.8	1.9	1.2	142.7	1748.2
14	静岡市	5	25.8	4.9	18.9	1.9	2.6	276.0	1753.1
15	富山市	5	33.2	3.7	11.0	1.9	1.9	186.0	1925.3
16	豊橋市	5	43.4	3.5	8.0	1.6	2.1	179.7	1966.6
17	松山市	5	35.3	3.3	9.3	2.6	1.3	180.7	1865.8
18	秋田市	5	12.2	2.8	23.2	1.9	1.5	143.3	2389.0
19	鹿児島市	5	38.5	2.3	6.0	1.8	1.3	136.3	2054.1
20	横須賀市	5	35.3	2.2	6.2	1.4	1.6	163.4	2155.0
21	郡山市	5	31.4	2.1	6.7	1.4	1.5	230.5	3333.0
22	岐阜市	5	27.6	2.0	7.1	1.8	1.1	208.4	1843.9
23	和歌山市	5	28.3	1.9	6.9	1.7	1.2	101.7	1988.6
24	宮崎市	5	27.6	1.6	5.9	2.0	0.9	150.2	2277.4
25	長野市	5	32.3	1.5	4.5	1.3	1.1	118.5	2461.6
26	大分市	5	26.8	1.4	5.1	1.7	0.8	85.0	1794.0
	平均		29.8	3.5	14.0	2.1	1.7	196.9	1983.1

\* 用語解説は3pにあります。

1. **登録率** (貸出登録者数 ÷ 市の人口 × 100)  
 中核市の平均は 29.8%。富山市は 33.2%  
 で中核市 26 館中、9 位となっている。  
 最高は豊田市の 51.9%。富山市は、中央  
 館、分館、自動車文庫による、図書館サ  
 ービス網の整備が進んでいることから、  
 登録率も比較的高い。
  2. **市民1人当たりの貸出冊数** (個人貸出冊数  
 ÷ 市の人口)  
 中核市の平均は 3.5 冊。富山市は 3.7  
 冊で中核市 26 館中、10 位となっている。  
 最高は豊田市の 7.1 冊。富山市は当面 3.8  
 冊を目標値としている。
  3. **貸出密度** (貸出冊数 ÷ 登録者数)  
 中核市の平均は 14 冊。富山市は 11.0 冊  
 で中核市 26 館中、11 位となっている。  
 最高は岡山市の 43.3 冊。  
 この数値は、登録者が年間一人当たり何  
 冊借りたかを表すものだが、登録者数が  
 少ない場合や一人当たりの貸出上限冊  
 数が多い場合は数値も高くなる。(例：  
 秋田市や岡山市)
  4. **蔵書回転率** (貸出冊数 ÷ 蔵書数)  
 中核市の平均は 2.1 回。富山市は 1.9 回  
 で中核市 26 館中、13 位となっている。  
 最高は岡山市の 3.0 回。市民の図書館で  
 は 2 回以上が望ましいとされている。  
 この指標は、新刊図書の購入冊数や開架  
 図書の冊数に対し、書庫蔵書の比率によ  
 って大きく左右される。
  5. **市民1人当たりの蔵書冊数** (蔵書数 ÷ 市の  
 人口)  
 中核市の平均は 1.7 冊。富山市は 1.9 冊  
 で中核市 26 館中、9 位となっている。  
 最高は豊田市の 3.1 冊。富山市は当面 2.0  
 冊を目標値としている。しかし、蔵書冊  
 数が増えても、古い本の比率が高くなる  
 と逆に蔵書回転率が下がることになる。
  6. **市民1人当たりの図書購入費** (図書購入費  
 ÷ 市の人口)  
 中核市の平均は 196.9 円。富山市は 186  
 円で中核市 26 館中、12 位となっている。  
 最高は豊田市で 610.3 円。富山市として  
 は当面 200 円を目差している。  
 (金沢市は 242 円、岐阜市 208 円、長野  
 市 119 円)
  7. **購入図書の平均単価** (図書購入費 ÷ 購入  
 冊数)  
 中核市の平均は 1,983.1 円。富山市は  
 1,925.3 円で中核市 26 館中、13 位とな  
 っている。最高は郡山市の 3,333 円。
  8. その他  
 「貸出コスト」や「行政効果」の指標に  
 ついては、基礎数字にばらつきがあるた  
 め正確な比較とはいえませんが、参考ま  
 でに紹介します。
- \*「貸出コスト」(図書館費 ÷ 貸出冊数)  
 富山市は 424 円。(金沢市は 481 円、長野市 511 円、岐阜  
 市 432 円)
- \*「行政効果」(購入図書の平均単価 × 貸出冊数 - 図書館  
 費) ÷ 人口  
 富山市は 5,489 円。(金沢市は 7,178 円、長野市 2,864 円、  
 岐阜市 2,757 円)
- この指標は、総売上から総費用を引き、市民一人当たり  
 に対して、いくら還元したかを見るものです。

## 子どもの読書活動表彰 &

## 子どもの本の展示会を終えて

4月23日から5月12日までの15日間は、第44回こどもの読書週間でした。この期間中当館では、子どもたちに楽しい本を読んでもらいたい、親子でたくさんの本にふれあってもらいたいとの願いから毎年、「**子どもの本の展示会**」を開催しています。今年で28回目となりましたが、7階・特別室の会場には、1000名近くの皆様が来場されました。

その初日となった4月23日が、今年から『**こども読書の日**』と法律で制定されました。2000年は子どもの読書活動に対して国を挙げて応援する主旨の“子ども読書年”でした。さらに昨年末には「子ども読書活動推進法」が公布施行され、この日が定められたものです。

文部科学省では、子ども読書の日記念事業の一環として、子どもの読書意欲を高める活動に対して優れた実践を行なっている団体を表彰することとなり、当館はその第1回目の**文部科学大臣賞を受賞しました**。23日に東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで授賞式があり、当館館長が出席しました。長年、子どもと本を結びつける活動を継続的に行なってきたことに対して評価されたことで、職員一同大変うれしい受賞となりました。(下、表彰状写真)



この展示会もその活動のひとつで、その様子を少しお知らせしたいと思います。

### < 展示会の内容 >

昨年は3000点余りの児童書が出版されました。図書館で受け入れしたのは約2000タイトルになります。

このように毎年たくさんの本が出版される中で子どもたちが実際に手に取る本は、わずかです。子どもたちが楽しい本やすぐれた本と出会って豊かな読書体験ができるようにと願うとき、多くの本から何を選びどう与えるかという判断は容易ではありません。

そこで、子どもたちの読書の手がかりになればと新刊書の中から図書館がすすめる本として300冊を選び、今年も展示会を開催しました。

例年は5階青少年室を会場にしていたのですが、今年から7階特別室をもっと多くの市民の皆様を知ってもらうために、会場を7階に移しました。(右写真)



広い会場にたくさんの新刊書を並べて見る機会には中々ないので毎年この展示会を楽しみにしておられる方も多く、県外からも見にこられます。

また今年には新刊書だけではなく、昨年一昨年の間に亡くなった児童文学作家を偲んだ、**追悼5人展**(リンドグレーン、トーベ・ヤンソン、馬場の

ぼる、いぬいとみこ、香山彬子)と、ハリーポッターが火付け役となって今たくさん出版されている **話題のファンタジー展** を併せて行ないました。30年前に出版された「指輪物語」が映画化されたことによりまた新しい読者を得たこともうれしいことです。

(右 追悼5人展)



(左 ファンタジー展)

今年の展示会で目立ったことといえば、平日はお母さんがひとりでゆっくりと展示本を読み、土曜・日曜に子どもさんを連れて再び来場という方が多くみられました。又、おじいちゃんおばあちゃんがお孫さんのために展示目録を持ち帰るといいうケースや、特に子どもを連れてお父さんの姿が大変多かったのが印象的でした。

土曜日にファンタジー展の前に座って何時間も読みふける小中学生の様子を見てみると読書離れ・活字離れと言われているのが嘘のようでしたが、現実にも目を向けなければなりません。

<おはなしワールド>

そのほかにも4月23日の子ども読書の日にちなみ、全体を**おはなしワールド**と銘打ってこどもの読書活動を応援する行事を、中央館と14分館併せて館全体で行ないました。

4月23日(火)には、近くの幼稚園・保育所の園児を招き、読み聞かせやおはなしの会を開き、大変喜んでもらいました。

4月27日・5月11日の土曜日にも、今年から学校完全週5日制になったことから各館工夫した行事を行ないました。

この3日間で1179人の参加者があり、たくさんの人たちに物語の世界・お話の世界を楽しんでもらったようです。

全国の図書館でもこの時期にさまざまなイベントが行われたようですが、特別なことをするのではなく、日頃行なっている活動を活かした事が、受賞した文部科学大臣賞の意味を深めたのではないのでしょうか。 (中央館 黒田)

<おしらせ>

8月の展示特集

**郷土の祭り～おわら風の盆～**

期間：8月2日(金)～9月4日(水)

場所：中央館4階 一般図書室展示ケース

\* おわら風の盆に関する本を集めて展示します。ケース内の本も貸出しますので、カウンターにお知らせください。

# 私のおすすめ本 \* \* \* \* \*



『美の死』  
久世 光彦/著  
筑摩書房刊

「とやま文学」文学賞選者の久世光彦著、『美の死』を紹介し、富山県芸術文化協会が発行している「とやま文学」二十号の編集まとめ役を担当することになり、選者の著書を読んで見たくくなりました。真っ先に入手したのが、『美の死』です。表紙の帯に「一冊の本を読むことは、一人

の女と寝ることに似ている」。この衝撃的な言葉に思わず手にとって、裏側も読みました。「人のことを書くのは、面白いことなのだ。会ったこともないのに、その人と親しくなれたような気がする。ほんの少しだがその人の肌に触れたようにも思う」。この一連の奇抜な文体に、私のなかに久しく眠っていた活字をむさぼる虫が目を覚ましたのです。

この著書の特徴は二百九十ページの全てが「書評」で貫かれていて、六十六人の著者に熱く迫り、その作品の「書評」が満載されていることです。吸い込まれるように面白くて赤ペンを片手にページごとに印を入れながら読みふけりました。一食を抜いても買いたい本は買ってしまおう程、読書は好きなほうなのに『美の死』に納まっている著者の作品の殆どは、未だ知りませんでした。知っている作家の名前を数えて見ました。六十六名中十人余りでした。

いかに自分の読書歴が貧しかったかと、狭かったかとかがく然としました。

またこの著者の書評は、短編小説を読んでいる

ような、文章にめりはりがきいていて、楽しくて、是が非でも読んでみたい衝動にかられます。ある作品を評して絶賛の絵を見ているようだとか、クラシックの曲名を上げながら、まさに音楽が聞こえて来るようだとか、匂や味までもが、その人の作品から感じられるという、著者の感性に驚きがあり、感動が沸いて来ます。

重ねて心暖まるのは、決して作品を俎上に載せて切り刻んだり、傷を付けたりという素人の同人評のような打撃はどのページからもうかがえません。叶うものなら一度でいいからこの久世光彦氏から「書評」を受けられるような、作品を書いてみたいものだ、夢のようなことを思ったりしました。

最後にあとがきに記された、心臓の中枢をわし掴みにされた文章の一部を紹介します。「乱歩は自分が死んだ後どんな探偵小説が現われるかと考えると、悔しくて死ぬに死ねないと言ったそうだが、いまの私にもそれに近い思いがある。私がこれまで読んだ本の数なんか高が知れている。それこそ大河の一滴ほどのものである。誰かは読んでいて自分は読んでいないというのは、どうにもならないことではあっても、哀しいことである」。以下略。

読書によって自分の未知な世界が迫体験できたり、知識や創造力をわけて貰ったりしてきた私ですが、この『美の死』を読んでからは、未だ知らない読本の何と数の多いことを思うと、気が遠くなるほどの衝撃でした。

読書の好きな方に、ぜひおすすめしてみたい一冊です。  
(山崎 寿美子)

**執筆者紹介** 本名同じ。1934年生。「とやま文学」編集長。昭47民主文学支部誌「野の声」発行に参加し、現在代表を務める。代表作に、『さあ走ってごらん』(北日本出版社)、『石ころを蹴って』(ひまわり出版社)、『能登の女』(新興出版社)、『ふたつの夜明け』(青磁社)等がある。

# 山田孝雄文庫の資料 6 〔おきな合<sup>あわせ</sup>〕 刊本 享和2年跋 1冊

本文



跋文



3 2 丁(白紙1丁 序1丁 絵1丁 本文2 5 丁 跋5 丁) 23.4×16.5cm

山田孝雄文庫にある和書・漢籍の整理には、少々手間が掛かります。どういう風に手間が掛かるかという例の一つが、この『おきな合<sup>あわせ</sup>』の場合です。

和書の書題は、本文の巻頭や序や跋<sup>はつ</sup>(いずれも現代の本でいう「はしがき」や「あとがき」)に書かれています。あるいはまた、表紙にある題簽<sup>だいせん</sup>に書かれていたり、印刷されていたりします。題簽がなく、表紙に手書きで書かれている場合もあります。しかし、この本には巻頭にも序、跋、表紙にも書題と思われるものが見当りません。

本に挿まれた西洋紙の紙片にメモとして「〔尚齒会記録〕」(〔 〕は推定的、便宜的な記述につけるもので、この場合は本の内容から推定したもの、あるいは内容を示すために便宜的にこう名づけたものという意味)と書いてありました。目録を作るためのメモとして挿まれたものと思われます。

内容は仙台の老人名士の集まりであるらしい「尚齒会」という短歌俳句愛好会の記録のようです。寛政12年ころこの尚齒会の会合に集まった人物を一人一人その風貌を伝える絵と俳句を添えて紹介した本です。本文にはほかに参加者の短歌や漢詩なども載せています。

この本、もしかしたら題簽がもとは付いていて、そ

れを所蔵している所では正しい書題を目録に記しているかもしれません。そして、その本と対照して同じ本かどうか確認すれば、正しい書名を確定できます。

『国書総目録』を見ると「尚齒……」という本がいくつかあり、山田俊雄先生にお尋ねすると、宮城県図書館に所蔵しているらしい『尚齒算歳<sup>しょうしかぞえとし</sup>』と目録に記されているものと同じ本かもしれないと教えて下さいました。

そこで宮城県図書館に『尚齒算歳』のコピーを依頼したところ、担当の萱場氏から『尚齒算歳』は『おきな合』が本来の書名で、古い目録では『尚齒算歳』となっているが、『宮城県図書館和古書目録』(平成3年刊)では『おきな合』と訂正したと教えられました。コピーも送ってもらい確認したところ、巻頭も跋も全く同じものです。そして宮城県図書館本には題簽が付いており『おきな合』となっています。

しかし、面白いことに、山田孝雄文庫本の跋には「享和元年辛酉の冬彫刻云々……翌甲戌の初春予は賀に寿て云々」とあり、「甲」を朱墨で「壬」と訂正してあります。ところが、宮城県図書館本では「翌壬戌の初春」と印刷されています。つまり、山田孝雄文庫の本の方が、先に刷られた版だろうと思われるのです。

(中央館 亀澤)

# レファレンスあれこれ

Q .  クロアチアの国花は何か知りたい

A . サッカーのワールドカップ期間中、上記のような質問を受けた。

『最新世界の国ハンドブック』『世界の国花』(1990年刊)『世界地理大百科事典6 ヨーロッパ』などを調べてみるが、どれにも書かれていない(クロアチアは1991年ユーゴスラビアから分離独立した)。

質問者には調査したが分からなかったと回答したのだが、気になってインターネットを使い「Yahoo!」でキーワードに「クロアチア 国花」と入れて検索してみた。すると、簡単にクロアチア国花が「**ヴェルビド・デジュニア**」であることが分かった。しかし、残念ながら写真・図などがなく、どんな花かは分からなかった。

そこで、名前を頼りに『朝日百科世界の植物』(全13巻)を調べてみたが、掲載されていないかった。植物の専門家に尋ねようと富山市科学文化セ

ンターにも照会したものの、写真は得られなかった。

富山県中央植物園に照会すると、アブラナ科の山野草で学名は**デジュニア・ヴェレピチカ**といい、硬貨や切手に描かれているけれど日本では手に入らない植物だということが分かった。(上写真、HP “Nature protection” より)

つい最近、『世界コイン図鑑』(2002年刊)という



大部の図鑑を購入したので、調べてみるとこの花をモチーフにした硬貨が掲載されていた。

(左写真)

Q . 80歳を過ぎた父が小学校のころ国語の教科書で習った「しいの木とかしの実」の全文を知りたい

A . 時々このような昔の教科書に関する質問を受ける。

『国定教科書内容索引』を調べ、『尋常科国語読本、第 期第 4 卷 15』に掲載されていたことが分かる。この索引は明治 37 年から昭和 20 年までの国定教科書の内容索引で、国語では教科書に収録の題名、人名、件名、和歌・俳句・詩などから、唱歌では題名、うたい出し、件名などから探すことができる便利なものである。

所蔵の『日本教科書大系』(全 28 巻)の中から該当の巻を見ると、探している「しいの木とかしの実」が載っていた。

ちなみに、富山県教育記念館には、明治・大正・昭和の小学校・中学校・高校の教科書約 5,000 冊を所蔵している。同館に所蔵一覧があり、年代が分かれば閲覧できるそうである。

(中央館 柴田)



平成 14 年 7 月 25 日

富山市立図書館 編集・発行